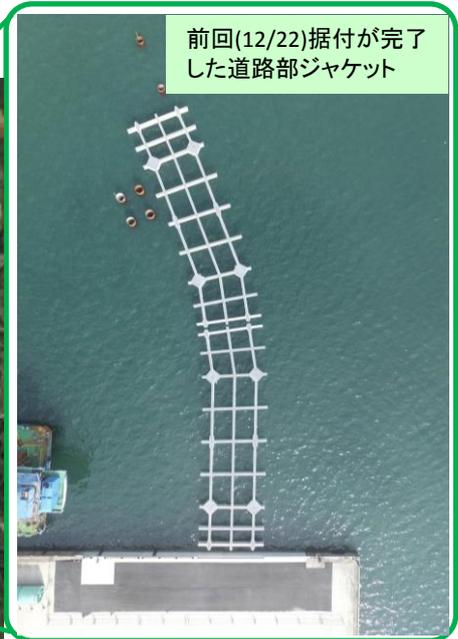
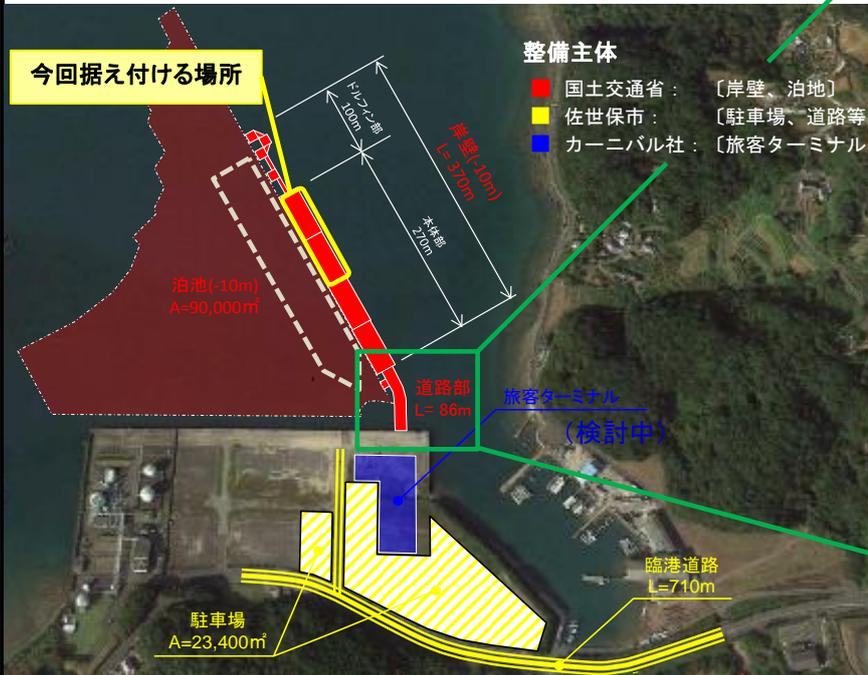


## 好評につき第2弾！ジャケット据付見学会in佐世保港

現在、16万トン級のクルーズ船が接岸出来る岸壁を築造している佐世保港浦頭地区。マスコミ向けのジャケット据付見学会を2月1日(金)に行いました。前回は道路部分のジャケット据付でしたが、今回は最も海側のジャケットを据え付ける工事なので迫力ある映像を撮って頂くために船を用いて見学会を行いました。

### 《 浦頭地区 配置計画図 》



今回据え付けるジャケットは長さ67.5m、幅20m、高さ11m程度で、重量は300tあります。12月に据付を行った道路部ジャケットの約3倍の規模であり、鋼管杭に被せるレグの数も14本と多いため、先行杭の打設やジャケットの据付では、より精度の高い施工技術が求められます。

# 10:30 据付開始!



受注者がヘリを使って空撮を実施。

↓約1時間かけて、なんとかはまりました!

レグ内径(φ=1400)



鋼管杭(φ=1100)

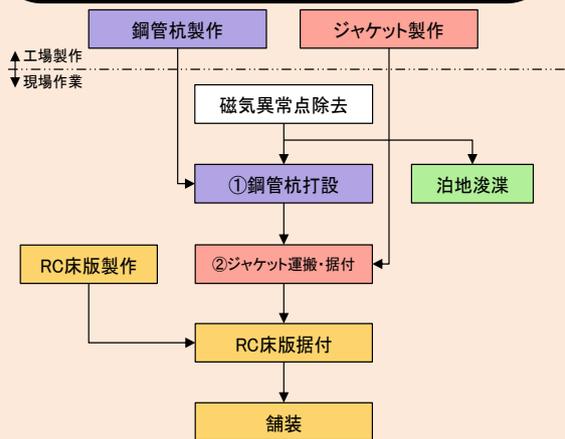
惜しい!  
あとちょっと!



作業をバックにインタビューを受ける副所長

今後は、残りの鋼管杭を打設して、本体部の残り2基のジャケットを据え付ける作業があります。  
また新たに、道路部ジャケットの上にRC床版を据付ける工事が2月後半に始まります。作業船が輻輳することが予想されるので、事故のないよう工事を進めていきます。

## 工事の施工フロー (国土交通省施工箇所)



### RC床版

